

課題名：兄弟姉妹のいる大学4年生はどのように就職活動に取り組むのか。

内容：

大学の4年間のうち、特に大学3年生の終わりから大学4年生にかけては、就職活動を行い、卒業後の進路を考える時期となります。そのような就職活動を行うみなさんは、それによるストレスや葛藤を抱きやすく、心理的に追い詰められてしまう可能性があります。一方で、そのようなストレスや葛藤に対して、親御さんからの支持やサポートがあると、より満足のいく就職活動を行うことができるということが他の研究からわかっています。

また、その中でも特に発達障がい児をきょうだいに持つ人は、ほかの人と比べて不安感や葛藤を抱えやすい傾向にあるということも分かっています。そのため、発達障がい児をきょうだいに持つ人に対して、「親の影響」という視点から研究を進めることが必要なのではないかと考えました。そのため私は、「発達障がい児をきょうだいに持つ人と持たない人で、就職活動が終わるまでの過程に違いが見られるのか」そして、「発達障がい児をきょうだいに持つ人は、親からのサポートをどう捉えているか」という2点を明らかにするために、今回皆様に調査をお願いしたいと考えています。

実験者：立教大学大学院現代心理学研究科臨床心理学専攻 博士課程前期課程2年 足立歩理

実験・面接時間：1～2時間程度の面接に1回ご協力いただきます。

実験・面接場所：立教大学新座キャンパス（6号館6階・研究用実験室4）もしくは協力者のご都合により zoom などのオンラインツールを利用

謝礼：Amazon ギフト券(面接1時間につき1,000円、30分超過ごとに500円)

募集期間：2024年10月まで

連絡先：a.adachi@rikkyo.ac.jp

その他：発達障がいのある兄弟姉妹がいらっしゃる、かつ福祉職への就職が決まっている大学4年生3～5名と、発達障がいを含むあらゆる障がいのない兄弟姉妹がいらっしゃる、かつ福祉職への就職が決まっている大学4年生3～5名の方に調査を依頼させていただきたいと考えております。

募集は、先着順により協力をお願いすることとし、必要な協力者が集まり次第、募集を終了させていただきます。